

INFO-HIRO-21

第466号 2019年2月1日
弘前大学総務部総務広報課

弘前大学大学院理工学研究科博士論文公聴会のお知らせ

博士後期課程安全システム工学専攻 博士論文公聴会

博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催します。
皆様のご出席お待ちしております。

日時：2019年2月8日（金） 8：40～9：40

場所：理工学部2号館2階 12番講義室

学位申請者：黄鵬瑞

論文題目：The Classical Numerical Range and Its Generalizations
（古典数域とその一般化についての研究）

【問合せ先】理工学研究科 中里 博

E-mail : nakahr [at] hirosaki-u.ac.jp

博士後期課程機能創成科学専攻博士論文公聴会

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会（予定）
を下記の要項で開催します。皆様のご出席お待ちしております。

(I) 日 時：平成31年2月12日（火）15：00～16：00

場 所：理工学部1号館2F，1番講義室

学位申請者：青海雄太

論文題目：Preparation and Applications of Fluoroalkyl End-Capped
Vinyltrimethoxysilane Oligomer/Boric Acid Composites

（フルオロアルキル基含有ビニルトリメトキシシランオリゴマー/ホウ酸コン
ボジット類の調製と応用）

(2) 日 時：平成31年2月12日（火）16：05～17：05

場 所：理工学部1号館2F，1番講義室

学位申請者：鈴木純一

論文題目：Preparation and Applications of Fluoroalkyl End-Capped Vinyltrimet
hoxysilane Oligomeric Composites - Encapsulated a Variety of Polyme
ric Compounds Possessing a Superoleophilic/Superhydrophobic Charact
eristic

（超親油/超撥水性を示す種々の高分子化合物がカプセル化されたフルオロアル
キル基含有ビニルトリメトキシシランオリゴマーコンボジット類の調製と応用）

問い合わせ先：理工学研究科機能創成科学専攻 澤田 英夫

電話：39-3947 e-mail: hideosaw@hirosaki-u.ac.jp

博士後期課程機能創成科学専攻の論文博士公聴会（予定）

下記の要領で弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の論文博士公聴会（予定）を開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

日時： 2019年2月13日（水）12：40～14：40
場所： 理工学部1号館第3講義室
学位申請者： 沈 健（しん けん）
論文 題目： 低速流における小型ローテーションフロータービンの性能評価及び
海洋エネルギー発電利用可能性検討

問い合わせ先： 地域戦略研究所 久保田 健 e-mail: kubott@hirosaki-u.ac.jp

博士論文公聴会

日時： 平成31年2月13日（水）13：00～14：00
場所： 理工学部1号館2階1番講義室
学位申請者： 大野 俊明
論文題目： Gravitational bending angle of light with finite-distance
corrections in stationary axisymmetric spacetimes
(定常軸対称時空における光の重力レンズによる曲がり角の有限距離補正)

【問い合わせ先】 浅田 秀樹 E-mail: asada@hirosaki-u.ac.jp

イベントのお知らせ

延辺大学（中国）教員交流プログラム招へい教員による学術講演会のお知らせ

このたび、本学の海外協定校である延辺大学（中国）から権海善先生をお招きして、下記のとおり学術講演会を開催いたします。

延辺大学のことや、普段なかなか聞くことのできない中国の看護文化について知るチャンスです。どなたでも参加できるので、興味のある方は是非ご参加ください。

- 【日時】 平成31年2月5日（火） 17：40～18：40
- 【場所】 弘前大学大学院保健学研究科 E棟6階 第63講義室
- 【講師】 延辺大学看護学院 准教授 権 海善 先生
- 【演題】 1「延辺大学看護学院紹介」
2「中国の看護（介護）文化」
- 【対象】 学生・教職員，どなたでも参加できます。
- 【申込】 事前申し込みは不要です。

※講演はすべて日本語で行われます。

2018年度 教員交流プログラム 招へい教員

延辺大学 学術講演会

(演題)

▶ 延辺大学看護学院紹介

▶ 中国の看護(介護)文化

中国・延辺大学の先生に上記演題にて講演をしていただきます。延辺大学のことや、看護文化など中国ならではの看護の現場を知るというチャンスです。興味のある方は是非ご参加ください。

延辺大学看護学院 准教授 権海善先生

2019年
2月5日(火) 17:40~18:40

弘前大学大学院保健学研究科
E棟6階 第63講義室

■ 学生、教職員、どなたでも参加できます。
■ 事前申し込み不要。
■ 講演はすべて日本語で行われます。

(お問い合わせ先)
弘前大学国際連携本部
TEL 017-336-3114
E-mail: jyo214@hirosaki-u.ac.jp

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL : 0172-39-3114 E-mail : jm3114@hirosaki-u.ac.jp

大学院保健学研究科最終講義のお知らせ

大学院保健学研究科では、本年度をもって退職される 齋藤 久美子 教授、西沢 義子 教授、木田 和幸 教授、被ばく医療総合研究所 山田 正俊 教授の最終講義を下記により行いますので、ご案内申し上げます。

日時：平成31年2月18日（月）13：00～17：35

場所：大学院保健学研究科 E棟6階 第63講義室

プログラム

保健学研究科長挨拶

13：00～13：05

最終講義

13：05～14：05	齋藤 久美子 教授	「看護教育に40年携わって」
14：15～15：15	西沢 義子 教授	「弘前大学における43年間の歩み」
15：25～16：25	木田 和幸 教授	「私の大学生活と保健学」
16：35～17：35	山田 正俊 教授	「私の放射線核種歴」



問い合わせ先：大学院保健学研究科学事委員会：木立りり子（内線5922）

保健学研究科学務グループ（内線5470）

第2回「研究リーダー力向上支援セミナー」開催のお知らせ

研究リーダー力向上支援セミナー「研究リーダーのハラスメントマネジメントスキル」を開催いたします。

講師には、「アカデミック・ハラスメントを生み出す研究スタイルおよび研究組織の分析」等の研究があり、ハラスメント相談室の専任教員としてハラスメント防止や被害者支援に携わってこられた広島大学の北仲千里先生をお招きし、アカデミックセッティングにおいて研究者に求められるハラスメントマネジメントスキルについて講演をいただきます。ケーススタディを用いたグループワークも行いますので、ぜひご参加ください。

記

◇日 時：平成31年2月20日（水）13:00～14:00

◇会 場：弘前大学総合教育棟 3階 310講義室

◇講 師：北仲 千里 先生

広島大学ハラスメント相談室 准教授

◇参加費：無料

◇主な対象：北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議構成機関の方々
あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク構成機関の方々

◇定 員：約30名（先着順）

◇申 込：2月13日（水）までに、①お名前、②ご所属、③ご連絡先をお書き添えのうえメールまたはファックスでお申込みください。

◇主 催：弘前大学、北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

◇共 催：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク

弘前大学人文社会科学部学務委員会

◇参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/7255.html>



◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室

TEL：0172-39-3888／FAX：0172-39-3889

Email：equality@hirosaki-u.ac.jp

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「第3回ノートテイク講習会」開催のお知らせ

学生特別支援室では、下記のとおり第3回ノートテイク講習会を開催します。ノートテイクとは、聴覚に障害のある学生の耳の代わりとなり、先生の声やチャイムの音、笑い声など講義中の音の情報を文字にして伝える支援技術です。

本講習会は、ノートテイクの基本的技術の習得を目的としており、聴覚障害の疑似体験をとおり障害を理解することから始まり、実際にノートテイクを実践するまでの初心者向けプログラムです。

興味のある学生、教職員の方のご参加をお待ちしています。

記

【日 時】平成31年2月28日（木） 13：00～16：00

【場 所】弘前大学 総合教育棟2階 206講義室

【講 師】みやぎDSC代表 松崎 丈 氏（宮城教育大学准教授） 他2名

【対 象】本学の学生および教職員

【参加料】無料

【申込み】所属、学籍番号、氏名を明記の上、2月25日（月）までに下記アドレスへメールでお申し込みください。

【担 当】弘前大学学生特別支援室

TEL：0172-39-3266 （内線）3266

E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp



平成30年度第2回 知財塾開催のお知らせ

この度、研究・イノベーション推進機構では、教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に貢献することを目的に知財塾を開催します。第2回は、国内大手製薬メーカーの一つである第一三共株式会社様から講師をお招きし、オープンイノベーション時代において製薬企業がアカデミアに期待することについてご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 場 所：健康未来イノベーションセンター
（弘前大学本町キャンパス）

2. 日 時：平成31年3月11日（月）18：00～20：00

3. 内 容：

「製薬企業のオープンイノベーションの取り組み」

第一三共株式会社 研究開発本部 オンコロジー統括部 バイオ・癌免疫ラボラトリー
主査 藤澤 道雄 氏



4. 対 象：教職員，学生，大学院生，一般企業等
5. 定 員：30名程度
6. 参加料：無料

※参加を希望される方は、氏名，所属・役職，連絡先を記載し，2月25日（金）までに，下記連絡先までお申し込みください。

参加申込み先：弘前大学 研究・イノベーション推進機構 知的資産部門（担当：篠村）
 TEL：0172-39-3911 FAX：0172-39-3919
 E-mail：chizai@hirosaki-u.ac.jp

シンポジウム「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2019」開催（再掲）

今回のサブテーマ“ソーシャル・ヘルスイノベーションPJ最前線”

ヘルスリテラシーをいかに高めるか：教育こそすべて
 ー寿命革命：『健康BD』と『新健診モデル』でQOL&GNHを
 最大化しSDGsに貢献するー

青森県の短命県脱却と，県民・国民の健康寿命延伸，QOL（生活の質）とGNH（幸福度）の最大化による「寿命革命」実現に向けて，弘前COI拠点の超多項目BDを基盤とした社会実装戦略と，真の「健康の未来」について徹底討論するため，産学官金民トップが一堂に会するサミットを開催します。

今回は，青森県金木町で定年退職後に起業し「笹餅」を作りながら，地元津軽でご活躍されている生涯現役 笹餅名人 桑田ミサオ氏(91)を特別ゲストにお招きして講話をいただくほか，これまで同様，第一線で活躍する研究者や企業のトップに加え，料理研究家の浜内千波先生など豪華ゲストが講演やパネルディスカッションする予定です。

参加は無料ですが，事前のお申し込みが必要です。

例年，早い段階で満席となりますので，お早目のお申し込みをお願いいたします。

●今回の基調講演●

弘前大学大学院医学研究科特任教授で，弘前大学COI拠点長，研究リーダーである中路重之先生が「健康未来イノベーション戦略：最終章へ（仮）」と題し，講演します。

●今回の目玉企画1●

笹餅名人：桑田ミサオ氏を特別ゲストにお迎えします。桑田氏は青森県金木町で定年退職後に笹餅づくりをはじめ，75歳の時に「笹餅屋」を起業，91歳の現在も1年に5万個の笹餅をひとりで製造・販売をしています。
 「生涯現役こそ元気の源（仮）」と題してお話を伺います。

●今回の目玉企画2●

ハウス食品グループ本社 経営役/ハウスウェルネスフーズ 常務取締役 山本佳弘氏をゲスト講師にお迎えし，「高齢者の健康な食を提唱する（仮）」と題して，ご講演いただきます。

●今回の目玉企画3●

アツギ 代表取締役社長 工藤洋志氏をゲスト講師にお迎えし，「衣(医)で健康と美を科学する（仮）」と題して，ご講演いただきます。



●今回の目玉企画4●

例年、サミットや東京開催のフォーラムでも大好評をいただいている著名な料理研究家
浜内千波先生に登壇いただきます。

演題は「“減塩”も健康意識の運動から」

他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

シンポジウム「弘前大学C O I ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2019」

日 時： 2019年2月8日(金)13:00-17:15

(ネットワーキングパーティー17:30-19:00)

場 所： アートホテル弘前シティ・プレミアムホール（青森県弘前市大町1-1-2）

<https://www.art-hirosaki-city.com/>

対 象： 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 300名様（先着）

参加費： 無料（ネットワーキングパーティーに参加される方は、3,000円程度の会費を頂戴いたします。）

申 込： 事前のお申し込みをいただいております。

添付のチラシ2枚目をご参照の上、メールかFAXにてお申し込み下さい。

※先着順とさせていただきます。

定員に達し次第、締め切らせていただきますのでお早めにお申し込みください。

<プログラム>

※内容、登壇者、演題は変更となる可能性があります。ご了承ください。

■開会挨拶

弘前大学長 佐藤敬 青森県知事 三村申吾 弘前市長 櫻田宏

■共催挨拶

（国研）科学技術振興機構（JST）

■来賓挨拶

C O I S T R E A M 文部科学省

■基調講演

弘前大学大学院医学研究科特任教授（RL）中路重之

「健康未来イノベーション戦略：最終章へ（仮）」

■特別講話

笹餅名人 桑田ミサオ氏「生涯現役こそ元気の源（仮）」

■特別講演1

ハウス食品グループ本社(株)経営役・研究開発本部副本部長

ハウスウェルネスフーズ(株)常務取締役 山本佳弘氏

「高齢者の健康な食を提唱する（仮）」

■特別講演2

アツギ(株)代表取締役社長 社長執行役員 工藤洋志氏

「衣（医）で健康と美を科学する（仮）」

■特別講演3

料理研究家 浜内千波氏「“減塩”も健康意識の運動から」

■特別企画1 ビッグデータ解析チーム最前線：

京都大学大学院医学研究科教授／弘前大学COI拠点ビッグデータ解析タスクチームリーダー・奥野恭史氏

東京大学医科学研究所ヘルスインテリジェンスセンター教授・井元清哉氏

東京大学大学院医学系研究科特任准教授・平川晃弘氏

■特別企画2 データ連携最前線：

九州大学大学院医学研究院教授／九州大学サテライト拠点PL・二宮利治氏

京丹後市立弥栄病院院長／京都府立医科大学臨床教授・小田洋平氏

和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学教室教授・竹下達也氏

名桜大学大学院看護学研究科教授・砂川昌範氏

■特別企画3 社会実装リレー

花王

ライオン

イオン

ベネッセ

ローソン

エーザイ

テクノスルガ・ラボ

マルマンコンピュータサービス ほか

■パネルディスカッション

「寿命革命：ヘルスリテラシーで生活者QOL & GNHを最大化する！」

MD・AD：日経BP社医療局アドバイザー 宮田満氏

AD：COI総括ビジョナリーリーダー代理

名古屋大学総長補佐・同大医学部附属病院 教授 水野正明 氏

PL：市民（健幸リーダー・食生活改善推進員）・行政・大学・企業（COI）・金融代表者など

■閉会挨拶

弘前大学副学長（COI担当）／医学研究科長 若林孝一

■交流会：ネットワーキングパーティー

■併催企画：ポスター（デモ）セッション・だし活キッチン提案レシピ試食会など

◇弘前大学COI研究推進機構ホームページ

<http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=321>

「福島災害医療セミナー in 弘前 2018」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 被ばく医療教育研修部門では、福島県立医科大学災害医療総合学習センター、青森県診療放射線技師会との共催による“福島災害医療セミナー in 弘前2018”を下記の日程で開催いたします。

福島の実情について知ること、被ばく医療への理解を深めていただければと思います。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日程： 2019年2月16日（土）～17日（日）

開催場所： 弘前大学大学院保健学研究科（弘前市本町66-1）



募集人員： 医師，診療放射線技師，看護師等（20名程度）＊事前申込制・受講無料

プログラム：

◆2月16日（土）

13:00 - 14:00 ①講義「福島の震災」（1時間）

14:10 - 17:30 ②講義「福島における放射線健康リスク」（3時間）

◆2月17日（日）

08:30 - 10:30 ③ワークショップ「福島の現状を考える」（2時間）

10:40 - 12:00 ④演習「よろず健康相談演習」（1時間半）

12:10 - 13:30 ⑤講義「原発事故後の健康リスクコミュニケーションと医療者の責任」（1時間半）

※このほかe-learning による事前学習を受講していただきます。

申込方法： 事前申し込み制となります。

下記ウェブサイトの特設ページから申し込み手続きを行ってください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクト ホームページ
(URL) <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>



□受講の可否については2月初旬にメールでのご連絡を予定しております。

【申し込み締め切り】 平成31年1月31日（木）

共催： 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター

青森県診療放射線技師会

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田，柏村）

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

Eメール： kuwata@hirosaki-u.ac.jp TEL 0172-39-5518 FAX 0172-39-5912

弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

第1回 RNECセミナー（Radiological Nursing Education Center セミナー）（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科放射線看護教育支援センターは平成27年度から開設した博士前期課程の放射線看護高度看護実践コースの教育に対する支援や看護職・看護教員を対象としたセミナー等の開催や相談活動を行っています。

この度は、国際的な視野で放射線看護教育を強化するために海外から2名の講師を招聘し、アメリカにおける高度実践看護師の教育と課題ならびにCNS（Clinical Nurse Specialist）の活動について、台湾における災害看護・放射線災害の実態と人材育成についての理解を深めることを目的として開催致します。

興味・関心のある方，どなたでも参加可能です。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

【日時】 平成31年2月21日（木） 15:00～17:30

【会場】 保健学研究科 第33講義室（弘前市本町66-1）

【対象】 興味・関心のある方，どなたでも参加可能 ※無料

【プログラム】 ※発表等はすべて英語で行います



時 間	内 容
15:00～	Seminar start Opening remarks
15:10～	Lecture 1 : Lynda A. Mackin先生, PhD, AG PCNP-BC, CCNS (UCSF School of Nursing) 「Clinical Nurse Specialist Education, Competency and Credentialing in the United States : Assuring sustainability of the advanced practice nursing role」
16:20～	Lecture 2 : 賴甫誌 (Fu-Chih Lai) 先生, RN, Ph.D. (Taipei Medical University College of Nursing) 「The Use of Block Chain for the Prevention, Response, and Recovery of Radiation Disaster in Eastern Asia: Reflections from Japan to Taiwan」
17:30	Seminar close Closing remarks

【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村・桑田）
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL: : 0172-39-5518 E-mail : hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度情報処理学会東北支部研究会（弘前大学）【発表論文募集】（再掲）

日時： 2019年2月21日（木）9：30～17：30（開催時間は予定）

会場： 弘前大学総合教育棟の3階309講義室

〒036-8561 青森県弘前市文京町1 文京地区

アクセス → https://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access.html

発表申込方法：

申込締切日までに、下記の内容を申込先まで電子メールにてお知らせ下さい。

- (1) 発表題目
- (2) 著者氏名と所属（登壇者名の前に○印）
- (3) 発表会参加者の連絡先メールアドレス

申込締切：2019年2月8日（金）21:00まで

申込先：長瀬 智行

〒036-8561 青森県弘前市文京町3

弘前大学理工学部電子情報工学科

電話番号0172-39-3632, FAX番号0172-39-3632

E-mail: ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

備考

- ・発表申し込み件数にもよりますが、発表時間は質疑応答を含め15分～20分の予定です。
- ・発表用機材としてプロジェクタを準備します。ノートパソコン等はご自身のものを持参ください。
- ・開催日当日に講演原稿を50部持参していただきますが、様式ならびに部数につきましては別途ご連絡を差し上げます。
- ・研究会終了後の懇親会は行いませんので予めご了承ください。

学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

開催日： H31年 2月21日（木）

時間： 14：30～15：30 （時間内は出入り自由です。）

場所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室

T E L：0172－39－3266（内線3266） E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】<http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>
○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第51号」

<http://www.janu.jp/report/koho/51gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029